



憲法9条守れの願い込めて



今回は、大枝沓掛町(西山高原)にお住いの画家、落合峯子さんをお尋ねしました。

落合さんは、京都市立美術大学(現・京都芸術大学)西洋画科卒、日本美術会会員、新美会員、絵画制作を続けながら子供たちに絵を教えるなど、絵画教室でも活躍中。以下、落合さんのお話を紹介します。

9・11 同時多発テロに衝撃を受ける

私は、大学の卒業制作展に全日自労のおばさん達(京都御所の清掃などをされていた)をモデルにした油絵を出品しました。また、メーデー参加者のおじさんを描いた作品が京都民報に掲載されたこともあります。平和をモチーフに描き始めたきっかけは、9・11(2001年アメリカの同時多発テロ)でし



た。テレビで流されたあの衝撃的な映像は今も忘れられません。

それ以来、平和と憲法を意識したオイルパステル(スクラッチ技法による文字の書き込み)画を描くようになりました。その後、立命館大学の安齋先生からお声を掛け

ていただき、平和ミュージアムで個展を開かせてもらう機会を得ました。また、「平和を愛し、憲法9条を守る女性美術展」、「3・11 ミニアチュール展」(ギャラリーかもがわ)などにも出展しています。



憲法9条はなんとしても守りたい

私は、ピカソやゴッホにあこがれて、毎年ひまわりの絵を描いています。スケッチブックを持ち歩いては、身近な風景、野の草花、空を描くのが好きです。もちろん、平和と憲法9条をモチーフにした

絵はこれからも描いていきたい。戦争は絶対に起こしてはならない。そのために、憲法9条はなんとしても守らねばならないと思っています。

編集者—上が憲法9条を描いた絵、YES PEACE、NO WAR
是非、実物をご覧になっていただきたい。

敬老乗車証の改悪は許さない

今号では、いま住民の大きな関心を呼んでいる敬老乗車証の改悪問題を取りあげました。



敬老乗車証は高齢者のいのち綱

門川市長は、敬老乗車証の現行制度=収入に応じて年間3千円～1万5千円を負担する（応能負担）を一回乗る度に100円程度を負担する（応益負担）に改悪しようとしています。

住民からは、「敬老乗車証はいのち綱」「乗るたびに負担は生活に響く」等の反対の声が上がっています。

京都市が昨年8月に実施した市民アンケートは、市財政の厳しさを強調し、市の負担を縮小する結論に誘導するものでした。しかし、集計結果では、市の負担を「増やした方がよい」10.8%、「維持した方がよい」41.8%、「減らした方がよい」37.3%で、「増」と「維持」の合計が52.6%と過半数を超えています。



制度の社会的効果を検証すべき

京都市は、負担額が46億円もかかっていると宣伝しますが、同様の制度を持つ名古屋市の140億円と比較して、人口比で名古屋市の2分の1です。

また、京都市は、敬老乗車証のもつ経済効果の検証を行おうとしませんが、名古屋市が行った市民アンケート「敬老パスの社会的効果」（委託調査）では、敬老パスの「複合的効果」がはっきり示されています。

その複合的効果とは、①社会参加（外出誘発）。②

健康（1400歩数増）、③経済（4200円/外出1回、直接経済効果316億円、波及効果500億円）、④環境（CO₂6500トンの削減）とされています。

敬老パスが、高齢者の外出を誘発し、それが健康につながり、消費も増えて経済効果をもたらす、車利用が減って環境にもよいということなのです。

名古屋市長は利用拡大を公約

名古屋の河村市長は、「どえりゃあうれい庶民の経済～敬老パス値上げストップ」を掲げ、タクシー割引、買い物割引への利用導入、名鉄・JRへの利用導入の検討を公約。利用を拡大しても「値上げはしません」と議会で明確に述べています。

京都市は、改悪ありきではなく、名古屋市からも学び、敬老乗車証の本来の目的～高齢者の社会活動への参加、生きがいづくり、介護予防に役立てる～に沿って、費用対効果の検証をしっかりと行い、住民要求にもとづいて制度充実をすすめるべきです。

市民の切実な声を署名で示そう

西京では、昨年11月4日、洛西新林会館で、「敬老乗車証の改悪に反対する西京市民集会」が開催され、①市の改悪方針の撤回、②現行制度維持、③民間バスへの適用拡大の3要求を決議し、宣伝と署名のとりくみ強化を確認しました。西京革新懇も運動を広げるとりくみに参加していきます。

お知らせ

学校・教育のあり方と西京

まちづくりを考える集会

2月18日(日) 14時～洛西福西会館



市内の学校統廃合、小中一貫校等の現状と住民運動に学びながら、学校現場や父母の声を交えて、まちづくりとともに語り合います。

主催は、西京革新懇、民主団体、労働組合などで行く集会実行委員会。